

Vフロン #200スマイル

F☆☆☆☆

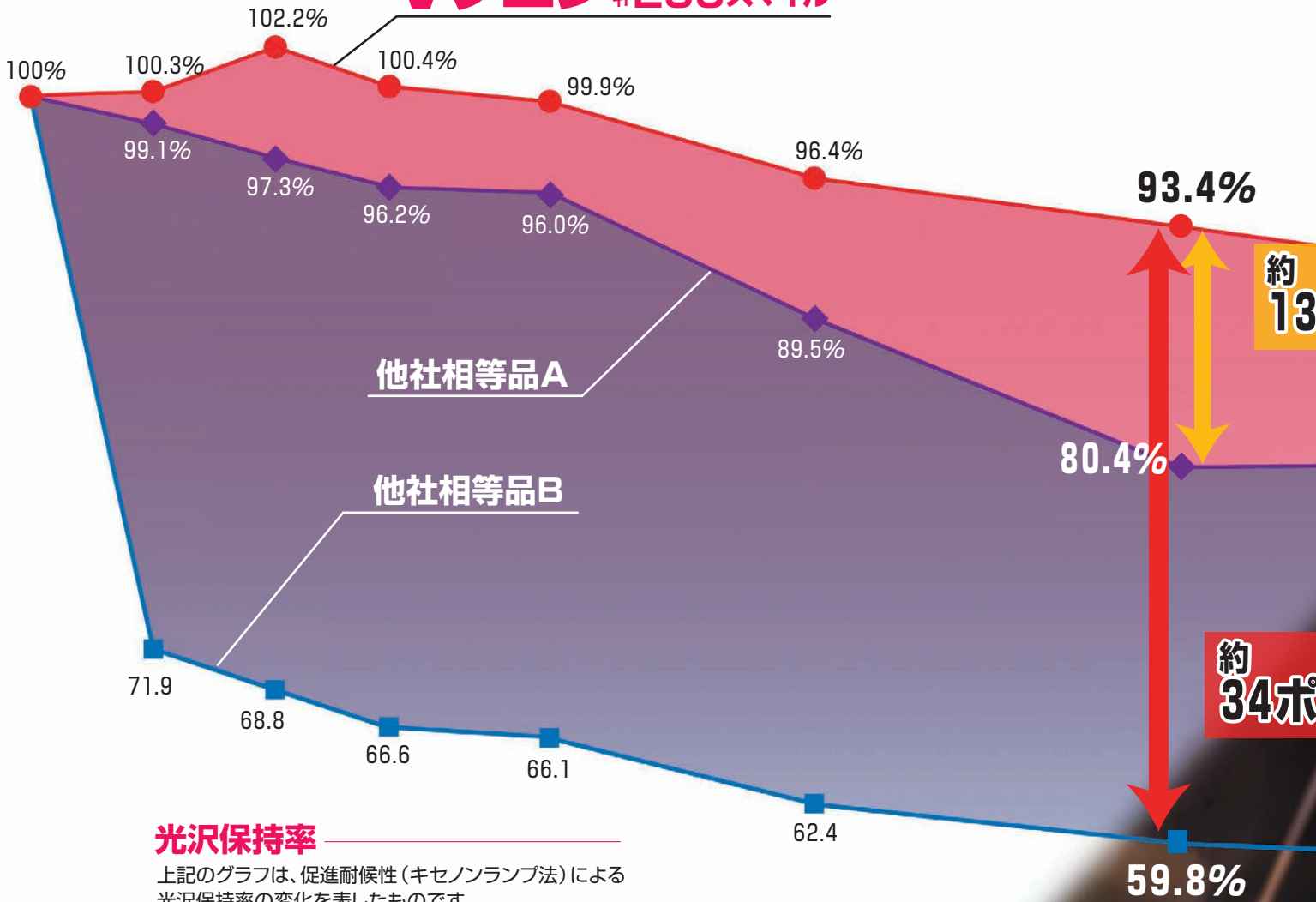
V-FLON #200SMILE

弱溶剤形ふっ素樹脂塗料

大日本塗料株式会社

スタート

Vフロン#200スマイル



光沢保持率

上記のグラフは、促進耐候性(キセノンランプ法)による光沢保持率の変化を表したものです。

最高の品質!! ~Vフロン#200の性能を受け継ぐ弱溶剤形~

弱溶剤形ふっ素樹脂塗料「Vフロン#200スマイル」は、弱溶剤(塗料用シンナー)希釈で環境にやさしく、さらにDNT独自の技術により、強溶剤タイプにひけを取らない仕上がり感を得ることができます。ターペン可溶形なので、塗り重ねの幅が広く、旧塗膜の選択肢も広がります。

の違いが ゴールの差になる。

ポイントの差

88.4%

80.9%

ポイントの差

58.6%

特長

- 塗膜性能は従来の強溶剤塗装システム(Vフロン#200上塗)と同等。
- 環境面に悪影響のあるトルエン・キシレンなどを配合せず環境負荷低減に貢献できます。
- 中・上塗りとも塗料用シンナーで希釈から塗装機の洗浄までできるので作業効率も大幅UP!
- 弱溶剤形のため、あらゆる下地に塗装できます。

製品体系

製品名	色	荷姿	混合比
Vフロン#200スマイル 中塗	各色	15kgセット 4kgセット	90:10
Vフロン#200スマイル 上塗	各色	15kgセット 4kgセット	90:10

用途

建築物の外装および建築物鋼製建具、金具など
※上記の用途以外に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

標準塗装仕様

改修塗装仕様

■コンクリート・モルタル（吹付タイル）面の改修

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	汚れ、脆弱な層などを適切な工具（ブラシやサンドペーパーなど）を用いて除去する。ブラシ、ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						乾燥後
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリヤー	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.10	※1 4時間以上 7日以内
				10~20	エアレス	0.12	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	30~50	刷毛・ローラー	0.10~0.12	
				10~20	エアレス		
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.12	-
				10~20	エアレス	0.15	

(注1) 吸い込みの激しい部分へは、下塗りを2回塗装して下さい。2回塗装しても吸い込みが止まらない場合には吸い込みが止まるまで塗り重ねて下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3) 旧塗膜の状態が良好で、吸い込みの少ない場合は、必要以上に塗り込まないで下さい。ハジキなどの原因になります。

(注4) 乾燥過程で水（降雨など）の影響を受けると白化することがあります。この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をして下さい。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間（20℃）、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

■一般鉄部面の改修

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	ディスクサンダーなどの動力工具、ワイヤブラシなどの手工具を併用し、旧塗膜およびさびを除去し、鉄肌をあらわす。強固に付着している活膜は残す。						乾燥後
下塗り	エポティ	グレー ライトグレー Dホワイト	主剤 90 硬化剤 10	0~10	刷毛・ローラー	0.20	8時間以上 30日以内
				0~10	エアレス	0.26	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.11	2時間以上 7日以内
				10~20	エアレス	0.13	
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.12	-
				10~20	エアレス	0.15	

(注1) 素地露出部は、下塗りの補修塗装を行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。



新設塗装仕様(コンクリート、モルタル面)

■吹付タイル仕上げ

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)	
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、pH10以下で施工する。(夏:2週間以上、冬:3週間以上)						乾燥後	
素地ごしらえ	汚れ、脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 ブラシ、ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						乾燥後	
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリアー	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.10	※1 4時間以上 7日以内	
			主剤 14 硬化剤 1	10~20	エアレス	0.12		
				30~50	刷毛・ローラー	0.10~0.12		
					エアレス			
主材塗り	DNTタイルアクリルベース(K)	白系	-	0~2	タイルガン	1.30~1.70	24時間以上 1ヶ月以内	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	2時間以上 7日以内	
				10~20	エアレス	0.20		
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	-	
				10~20	エアレス	0.20		

(注1) コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、pH10以下で塗装を行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20℃)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

■ゆず肌仕上げ

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)	
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、pH10以下で施工する。(夏:2週間以上、冬:3週間以上)						乾燥後	
素地ごしらえ	汚れ、脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 ブラシ、ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						乾燥後	
下地処理	釉元5号S	白 グレー	主剤 11.5 硬化剤 1.5 パウダー 10.0	0~3 5~10	刷毛・ローラー	0.50	24時間以上	
					エアレス	1.00		
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリアー	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.10	※1 4時間以上 7日以内	
			主剤 14 硬化剤 1	10~20	エアレス	0.12		
				30~50	刷毛・ローラー	0.10~0.12		
					エアレス			
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	2時間以上 7日以内	
				10~20	エアレス	0.20		
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.16	-	
				10~20	エアレス	0.20		

(注1) コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、pH10以下で塗装を行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3) 被塗物に小さなピンホールなどがある場合は、釉元5号Sによってしごき処理を行って下さい。

(注4) 下地の吸い込みがある場合は、「マイティー万能エポシーラークリアー」を下地に含浸塗布してから7日以内に釉元5号Sを塗装して下さい。

(注5) 釉元5号Sを厚付けするとクラックが発生することがありますので、使用量を厳守して下さい。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20℃)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

標準塗装仕様

新設塗装仕様 (コンクリート、モルタル面)

■平滑仕上げ

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
コンクリート 乾燥	含水率10%以下、pH10以下で施工する。(夏:2週間以上、冬:3週間以上)						乾燥後
素地ごしらえ	汚れ、脆弱な層などを適切な工具(ブラシやサンドペーパーなど)を用いて除去する。 ブラシ、ホウキなどを用いて汚れ、その他有害な付着物を取り除き、清浄な面とする。						乾燥後
下塗り	マイティー万能エポシーラー	白 又は クリアー	主剤 90 硬化剤 10	5~10	刷毛・ローラー	0.10	※1 4時間以上 7日以内
			主剤 14 硬化剤 1	10~20	エアレス	0.12	
中塗り	Vフロン#200スマイル 中塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	30~50	刷毛・ローラー	0.10~0.12	
			主剤 90 硬化剤 10	5~10	エアレス	0.13	
上塗り	Vフロン#200スマイル 上塗	各色	主剤 90 硬化剤 10	10~20	刷毛・ローラー	0.11	2時間以上 7日以内
			主剤 90 硬化剤 10	5~10	エアレス	0.12	
				10~20	エアレス	0.15	-

(注1) コンクリート乾燥の上記乾燥期間は目安であり、特に寒冷地の場合、乾燥は十分に行って、含水率10%以下、pH10以下で塗装を行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3) 巣穴が目立つ場合は「マイティーエポキシパテ」でパテ付けを行い、パテ施工後は必ず研磨をして下さい。

※1 塗装間隔は屋根面では歩行可能な最小時間として16時間(20℃)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

■施工上の注意

- ①降雨、降雪の可能性の大きい場合や高湿時にはつや引け、ブラッシング、硬化不良などが起こることがありますので、塗装は避けて下さい。
- ②結露などで塗装面が湿っている時は、はく離や硬化不良の原因となりますので避けて下さい。
- ③シンナーで必要以上に希釈しないで下さい。ダレたり、薄膜となり耐久性が不足し、はく離の原因ともなります。
Vフロン#200スマイルにはラッカーシンナー、ラッカーリターダーなどアルコール系溶剤が入っているシンナーは使用しないで下さい。
- ④Vフロン#200スマイルを直接、鉛丹ペイント、鉛丹ジツクロペイント、塩化ゴム系塗料の上には塗装できません。
- ⑤冬期など乾燥が遅れる場合は、塗料用シンナーA、又はエナメルシンナー#220を使用して下さい。
- ⑥塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または、換気が十分でなく結露の可能性が考えられる場合、乾燥過程で欠陥を生じることがありますので、塗装を避けて下さい。
- ⑦塗装時、塗料の取り扱いには換気を十分に行い、火気厳禁にして下さい。溶剤系塗料

のため、室内での塗装時、及び塗装後も、必ず十分な換気をして下さい。また、外部での塗装も開口部などの養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意して下さい。

居住者への十分な配慮をお願いします。

- ⑧飛散防止のための養生をして下さい。
- ⑨建物の構造によっては、汚れ防止機能が発揮されにくい場合があります。
- ⑩シーリング材への塗装は、シーリング材の種類によって、割れたり、汚れたりする場合がありますので基本的には避けて下さい。やむを得ず塗装する場合は、塗装用のシーリング材を十分に乾燥させた後に「マイティー万能エポシーラー白」を先行塗装して下さい。
- ⑪刷毛塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗布量の違いにより表面肌が異なり色相に差が出ますので、刷毛の部分は希釈を少なめにして塗装して下さい。
- ⑫汚れ傷などにより、補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装して下さい。
- ⑬Vフロン#200スマイル中塗の上に強溶剤形上塗(Vフロン#200上塗)は塗装しないで下さい。リフティングを起こします。

Vフロン#200スマイル 中塗

塗料性状

項目		内容		
容姿		二液性		
荷姿		15kgセット(主剤13.5kg,硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤 3.6kg,硬化剤0.4kg)		
色相		各色		
光沢		3分つや		
密度 (23℃)	塗料	1.10~1.30		
	揮発分	0.80		
粘度(23℃)		75~100KU		
加熱残分		45~58%		
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	1時間	20分	15分
	半硬化	2時間	40分	30分
標準膜厚		25μm/回		
引火点		SDS 参照		
発火点		SDS 参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS 参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

関連法規

危険物表示	主剤、硬化剤：第4類第2石油類
有機溶剤区分	主剤、硬化剤：第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS 参照
劇物表示	—

Vフロン#200スマイル 上塗

塗料性状

項目		内容		
容姿		二液性		
荷姿		15kgセット(主剤13.5kg,硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤 3.6kg,硬化剤0.4kg)		
色相		各色(但し、色相には制限あり)		
光沢		つや有り、7分つや、5分つや、3分つや		
密度 (23℃)	塗料	1.22(淡彩色)		
	揮発分	0.80		
粘度(23℃)		105KU		
加熱残分		64%(淡彩色)		
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	2時間	1時間	30分
	半硬化	16時間	8時間	6時間
標準膜厚		30μm/回		
引火点		SDS 参照		
発火点		SDS 参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS 参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

関連法規

危険物表示	主剤、硬化剤：第4類第2石油類
有機溶剤区分	主剤、硬化剤：第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS 参照
劇物表示	—

使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 火気の無い場所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下。		
調合法		主剤 90部：硬化剤 10部(重量比)		
熟成時間		—		
可使時間		20℃:8時間、30℃:4時間		
塗装方法		刷毛・ローラー・エアレス		
希釈剤		塗料用シンナー		
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス※1	
	希釈率	5~10%	10~20%	
	標準使用量	0.11kg/m ² /回	0.13kg/m ² /回	
	標準膜厚	25μm/回		
ウエット管理膜厚		—		
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	4時間	2時間	1.5時間
	最大	7日	7日	7日

(注) 標準使用量は、実績値に基づき算出しています。

※1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下。		
調合法		主剤 90部：硬化剤 10部(重量比)		
熟成時間		—		
可使時間		5℃:6時間、20℃:5時間、30℃:3時間		
塗装方法		刷毛・ローラー・エアレス		
希釈剤		塗料用シンナー		
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス※1	
	希釈率	5~10%	10~20%	
	標準使用量	0.12kg/m ² /回	0.15kg/m ² /回	
	標準膜厚	30μm/回		
ウエット管理膜厚		75μm/回		
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	24時間	16時間	12時間
	最大	7日	7日	5日

(注) 標準使用量は、実績値に基づき算出しています。

※1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012	札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル)
北関東営業所 ☎0480-26-5111 ☎346-0003	埼玉県久喜市久喜中央1丁目5-18 (辻屋ビル)
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912	新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015	千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233	神奈川県相模原市中央区倉沼台1-77 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857	静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081	大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022	名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005	富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085	京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (京都山科ビル)
姫路出張所 ☎079-226-5727 ☎670-0965	兵庫県姫路市東延末1-1 (姫路NKビル)
岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034	岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802	広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075	高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル1)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317	福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 い-ないろ <https://www.dnt.co.jp/>

